

キラリ! CSR活動 赤道原則に署名しました!

三井住友信託銀行は2016年2月、「赤道原則(The Equator Principles)」に署名しました。赤道原則は、民間金融機関が大規模なプロジェクトに融資を実施する際、そのプロジェクトが自然環境や地域社会に与える影響に十分な配慮がされているかを確認するためのグローバルなガイドラインです。2016年3月現在、輸出信用機関を含む世界83行がこれに署名しています。

赤道原則は、世界銀行グループの国際金融公社(IFC)が制定する環境社会配慮に関する国際的な基準・ガイドラインに基づいており、このガイドラインは、環境・社会に対する影響評価の実

施プロセスや、公害防止、地域コミュニティへの配慮、自然環境への配慮など多岐にわたります。

赤道原則を採択した金融機関は、大規模なプロジェクトが自然環境や地域社会に与える影響を評価し、ガイドラインを充足するための対策を遵守することを融資条件とします。

鉱山開発、石油・ガス開発、発電所、石油化学プラント、インフラ整備などの大規模プロジェクトは、自然環境や地域社会に大きな影響を及ぼす可能性があります。当社は、こうしたプロジェクトへの融資が、間接的に環境や地域に負の影響を与える可能性があることを認識しており、環境問題や社会問題を原因

としてプロジェクトが中断した場合の貸出債権の価値が劣化するリスクを回避・低減することも、健全な金融機関としての責務と考えています。

当社は今後も、民間金融機関のグローバルスタンダードとなっている赤道原則に基づくリスクマネジメントの手順を投融資先の与信判断プロセスに組み込むことで、持続可能な社会の構築を目指してまいります。



いいね!エコリフォーム 最新省エネ技術はお財布にもやさしい

省エネ技術は日進月歩。例えば、エアコンや冷蔵庫は20年前と比べると消費電力が大きく下がり、電気代もかなり安くなりました。LED照明も、白熱灯(普通球)に比べると電気代は約1/6に減り、寿命はなんと約20倍になり、その価格も、発売当初の2006年には一つ50,000円だったのが、2016年には3,300円にまで下がっています。調光機能も備えているため無駄をなくせ

る上に、暮らしのシーンに合わせた雰囲気づくりも楽しめて一石二鳥です。

リフォームするなら省エネ設備を積極的に取り入れたいもの。大気を活用するヒートポンプ式給湯機や保温浴槽を備えたバスルーム、節水効果の高い全自動お掃除トイレなど、最新省エネ技術が生きる設備により、一層エコでおトクな住まいをコーディネートすることができます。



監修: パナソニックリフォーム株式会社

表紙の写真 英国ナショナル・トラスト レイコック村(英国・ウィルトシャー州)

美しい自然や歴史的建造物を市民などの寄付によって買い取って守る活動はナショナル・トラストと呼ばれます。その発祥は19世紀の英国で、同国内の数多くの土地・建物が英国ナショナル・トラストによって管理されています。

ロンドンから西に2時間ほど車で走ると、英国人にとっての桃源郷とも言われるコッツウォルズ地方が広がります。

南コッツウォルズにあるレイコック村は、石造りの家屋や切妻屋根の木造家屋、漆喰の白壁や煙突を持つ家が立ち並び、中世に迷い込んだかのような雰囲気を楽しむことができます。

村のシンボルであるレイコック・アビーは、13世紀にソールズベリ伯爵夫人によって建てられた女子修道院です。院内の長い

回廊は、映画「ハリー・ポッター」シリーズで主人公が通う hogwarts 魔法魔術学校の廊下としてたびたび撮影に使用されました。

レイコック村はかつての領主タルボット家の所有地でしたが、1944年にマチルダ・タルボットによって村全体が英国ナショナル・トラストに寄贈されました。これは、マチルダの伯母が英国ナショナル・トラスト設立者の一人オクタヴィア・ヒル女史へ篤い信望を寄せていた影響によるもので、村の歴史と風景をまるごと将来に残したいというタルボッ



ト家の思いが、古き良き英国の原風景を今に伝えています。

SuMi TRUST WithYou

2016年度
社会貢献活動
REPORT
vol.2

SPECIAL TOPIC スペシャルトピック

介護と老人ホーム② 老人ホームの選び方 ～専門家が教えるホーム選びのポイント～

中野支店ロビー展紹介 魅惑のアール・ブリュット 佐藤 朱美氏 作品紹介



写真提供: (公社)日本ナショナル・トラスト協会

情報満載! CSRサイトもご覧ください。

三井住友信託銀行CSR

検索

老人ホームの選び方 ~専門家が教えるホーム選びのポイント~

いざ老人ホームへの入居を検討することになったとき、まずは費用や立地でホーム探しをする場合がほとんどです。しかし、老人ホームは第二の我が家であり、人生の残りの時間を自分らしく生きるための大切な場所でもあります。

第2回目は、老人ホーム選びの専門家である「ベネッセの介護相談室」相談員の染谷直様から、どうすれば納得のいくホーム選びができるのかについて解説いただきました。



ベネッセの介護相談室 相談員
介護支援専門員(ケアマネジャー)
染谷 直氏
有料老人ホームにて介護職員・入居相談員として約7年間勤務。2014年6月より現職。介護現場での職務経験をいかして年間200件以上の入居相談を受ける。「ご本人様の個性に合った施設選び」を心がけている。

「ケアプラン」と「生活提案」

介護サービス利用の軸となるのが、介護サービスの種類や内容をケアマネジャーが介護度に応じて組み合わせで作成する「ケアプラン」です。

在宅のケアプランの場合、例えば週5回朝8時~9時に訪問介護サービス、週2回9時~17時までデイサービスなど、内容がすべて決められています。自宅で暮らせる気楽さがある一方、サービスを受ける時間は限られているので、「点」でのケアになりがちです。この「点」と「点」を結び役割をケアマネジャーが担っています。

一方で、24時間介護職員がいる老人ホームの場合、その日の状況に合わせた介護サービスが受けられるという長があります。各ホームでは、一人ひとりの身体の状態や生活スタイルに合わせて「生活提案」をしています。具体的には、ケアプラン上は見守りだけでよい入居者でも、「今日は体調が悪そうだから食事介助をしよう」といったように、臨機応変に対応することができます。介護(=ケア)だけではなく、精神面や余暇活動に対してもお手伝いをする「面」でのケアをすることで、生活全体をサポートします。

入居後の暮らしがイメージできるか

在宅同様、老人ホームにおいても介護サービスのベースとなるものは「ケアプラン」ですが、同じくらい重要なのが、そこでどんな暮らしができるのかという「生活提案」です。日々の生活の中で今ある力をどう生かすのか、叶えたい生活を実現するためにはどうすればいいのかを入居者一人ひとりに対してホームがどう考えるのかが何より重要になります。入居を検討する際には自分(または

ホームに入る人)がどんな状況で、どんなケアをしてもらいたいのか、どんな生活をしたいのかをしっかり伝えることが大切です。

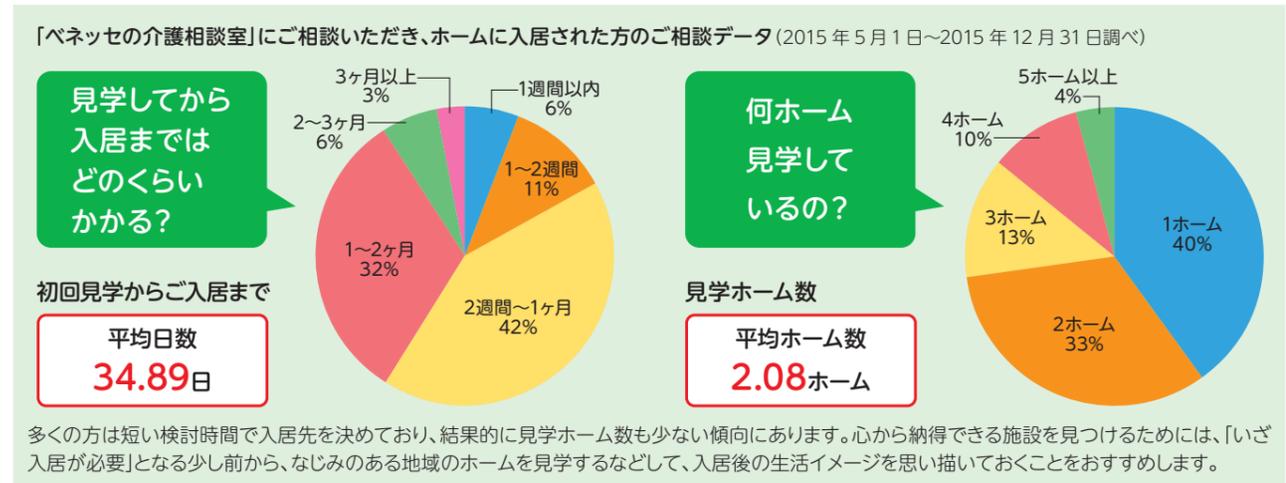
例えば、人と話すのが好きであれば、「なるべく他の人と関わることができる生活がしたい」、可能な限り自力で生活がしたいのであれば、「できるだけオムツではなくトイレへの誘導をお願いしたい」といったように細かく希望を伝えるとよいでしょう。それに対して、具体的な事例を提示しながら提案をしてくれるようであれば信頼できるホームだと思います。

第三者の目も使って

とはいえ、どこまで質問していいのかわからない、先方の答えや提案がいいのか悪いのかの判断は難しいと思いますので、老人ホーム紹介センターなど相談窓口を利用するのもよいでしょう。介護の現場を知っている相談員であれば、老人ホームの対応に対する判断指標も持っており、在宅と老人ホームでできることの違いについて事前に伝えることができます。第三者のチェックを入れるといった観点からも、判断に迷ったときには一度相談してみることをおすすめします。

最後に、老人ホームの見学で最も大切にしたいこと、それは「そこに自分(またはホームに入る人)が居ることがイメージできるかどうか」です。入居後の生活に満足されている方とご家族のほとんどが、見学時に入居後の生活がイメージできたというデータもあります。

また、見学の際には老人ホームの相談員や営業担当だけでなく、ホーム長やリーダー、ケアマネジャーなど、現場で働く人と会話をして生の声を聞いてみてください。これは、現場の人の考え方が現場のサービスに直結しているといっても過言ではないからです。



有料老人ホーム見学 チェックポイント

ポイント1 立地・玄関まわり

- 買い物ができる場所が近くにあるか
- 病院が近くにあるか
- 整理整頓されているか
- 玄関まわりの雰囲気など第一印象はどうか

ポイント2 居室・館内

- 介護用ベッドが無償で備え付けてあるか
- カーテン・照明は備え付けてあるか
- 掲示物がきちんと掲示されているか
- ナースコールの位置は適切か

ポイント3 食事・アクティビティ

- 施設内で調理をしているか
- 家庭的な食器を使っているか
- 外出のイベント、季節のイベントがあるか
- 地域住民やボランティアによるイベントがあるか

ポイント4 入浴・医療・リハビリ

- 入浴の回数は希望があれば増やせるか
- 看護職員の勤務時間は何時か
- 協力医療機関・提携病院の診療科目は何か
- リハビリ専門の職員を配置しているか

ポイント5 入居者・スタッフの様子

- 入居者は穏やかな表情をしているか
- 入居者同士の交流がみられるか
- スタッフの言葉遣いは丁寧か
- 説明はわかりやすいか



ベネッセの介護相談室「老人ホーム見学」ハンドブックより抜粋

魅惑の アール・ブリュット 2

Art Brut [アール・ブリュット]とは

「アール(Art)は[芸術]、「ブリュット(Brut)」は「磨かれていない」「加工されていない生のままの」という言葉を表すフランス語で、正規の美術教育を受けていない人々が伝統的な文化や社会の潮流に流されることなく、独自の発想と方法により制作した作品のことを指します。



タイトル「エキサイト」2012年

作者 佐藤 朱美 Akemi Sato

(1981年生まれ 北海道在住)

主な出展歴

- 2011年 「ココロの景色」展/ポダレス・アートミュージアムNO-MA(滋賀県)
- 2012年 アール・ブリュット展~生の芸術~/浜松市美術館(静岡県)
- 2013年 アール・ブリュットde街おこし展3/野方WIZギャラリー(東京都)
- 2013年 アール・ブリュット展~無限なる創造の世界~/佐賀県立美術館(佐賀県)
- 2015年 佐藤朱美アール・ブリュット展/北陸銀行(北海道)

中野支店はアール・ブリュットを応援しています!

愛成会は1958年の設立以来、施設入所支援をはじめ生活介護や就労継続支援、相談支援などの事業を展開するほか、2011年からは障がい者の理解啓発と多様な人々の社会参画を目的に、日本のアール・ブリュット作品を国内外に発信する活動に力を入れています。

中野支店は地域の一員として、愛成会のアール・ブリュット啓発活動を応援しており、後援や継続的なロビー展を通じて地域への情報発信のお手伝いをしています。

社会福祉法人 愛成会 ▶ <http://www.aisei.or.jp/>
中野支店ブログ ▶ <http://branchblog.smtb.jp/kanto/tokyo/nakano/>